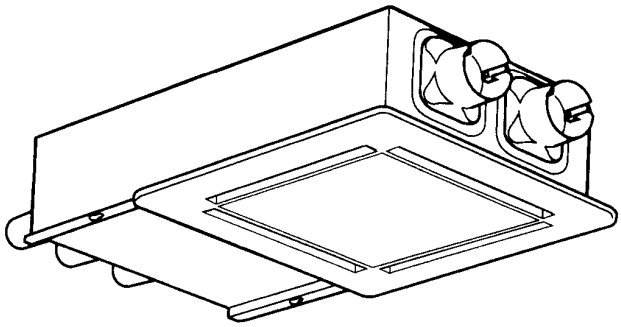
TOSHIBA

東芝熱交換ユニット
取扱説明書 家庭用



形名
VFE-110KFP

もくじ

安全上のご注意……2～3
特長……3
各部のなまえ……4
使いかた……4
お手入れのしかた……5～6
お手入れ後の組立……7
つぎのことは必ず守ってください……7
仕様……7
修理を依頼される前に……8
アフターサービス……8

- このたびは東芝熱交換ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

●取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●表示と、意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

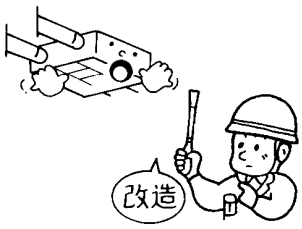
図記号の例

図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

⚠警告

改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

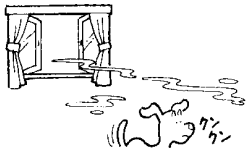
こげ臭い、煙がでているなど異常のときは、運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

異常のまま運転を続けると、
火災・感電の原因になります。
※修理はお買上げの販売店または
お近くの東芝家電製品のお客様
ご相談センターにご連絡ください。

電源を切る

可燃性ガスが漏れたときは、本体の運転・停止をしないこと

ガス爆発の原因になります。
可燃性ガスが漏れたときは、
窓を開け換気してください。



運転・停止禁止

修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買いあげの販売店、またはお近くの東芝家電製品のお客様ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

電気部品に、水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしないこと

漏電し、火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

お手入れのときは運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

電源を切る

ぬれた手で、スイッチに触れないこと

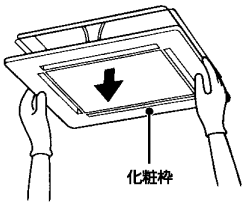
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠注意

化粧枠・熱交換器などの部品は、確実に取り付けること

落下し、けがをする原因になります。



確実に取付ける

長期間、ご使用にならないときは、安全のため電源ブレーカをきること

絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

電源を切る

本体に、異常な振動が発生したときは、使わないこと

本体・部品が落下し、けがをする原因になります。

使用禁止

熱交換ユニットの風が直接あたる所に燃焼機器を置かないこと

不完全燃焼による事故の原因になります。

風当て禁止

お手入のときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。

手袋を使う

特　長

住宅と熱交換ユニット

現在の住宅は気密性・断熱性が向上し、低エネルギーで快適な空間が得られるというメリットがあります。その反面、換気不足によって発生する室内空気の汚染・結露などが住まいを傷めたり、健康を害するカビ・ダニの発生にもつながります。

そこで、トータル換気システムが必要となります。

トータル換気システムとは・・・・・

リビングゾーン（居間・寝室・子供部屋・他）には熱交換した新鮮な外気を供給し、ダーティゾーン（台所・ユーティティなど）から集中排気をすることにより、1台で建物全体を効果的に換気するシステムです。

主な特長

1 強制同時給排なので **新鮮空気**

強制同時給排機能によって、きれいな外気を取り入れながら、汚れた空気を排出します。だから室内の空気は新鮮です。

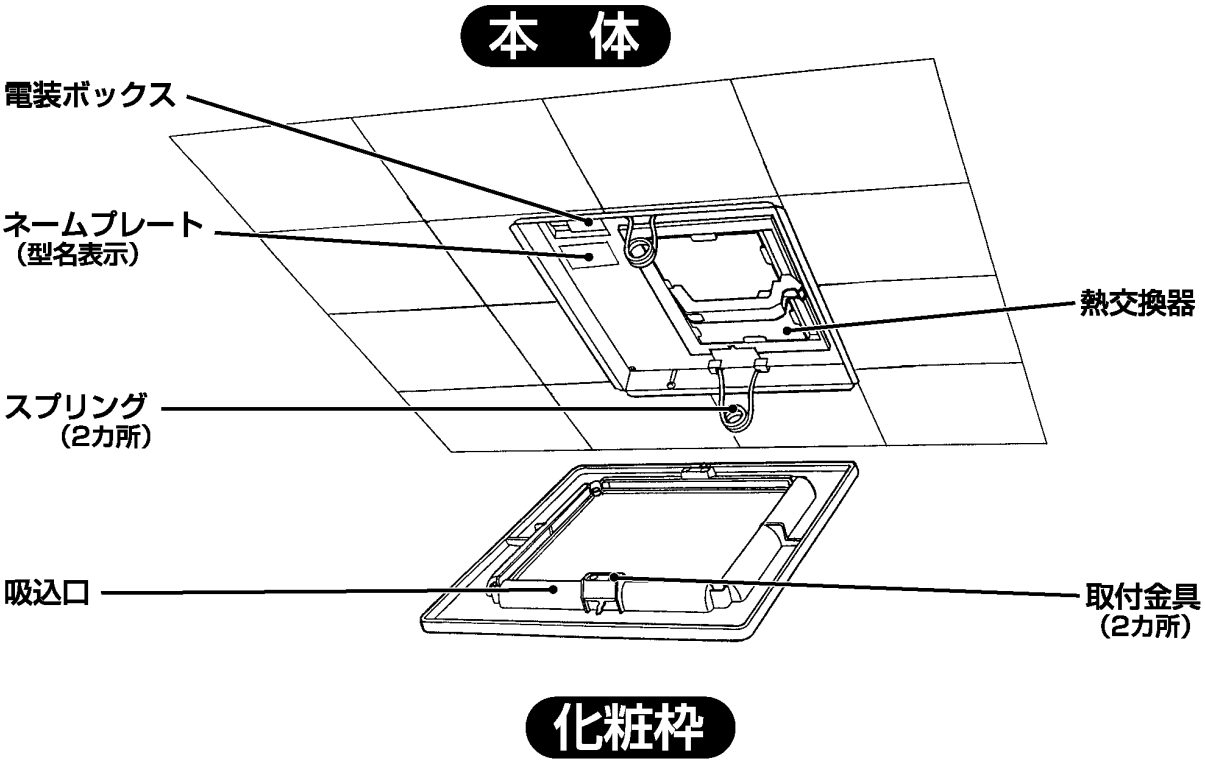
2 熱交換器の働きで **快適温度**

熱交換器の働きにより、外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。

3 熱ロスが少ないから **省エネ**

室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。

各部のなまえ

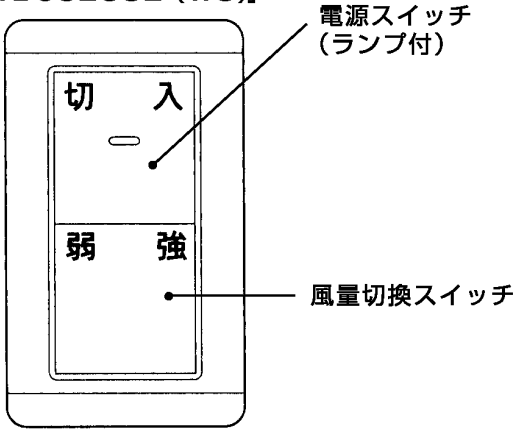


使いかた

この製品の運転は、システム部材の専用スイッチ［WDC 32082（WS）など］にて行います。

運転・停止

システム部材の専用スイッチ
［WDC32082（WS）］



■運転するには

電源スイッチの右側を押して「入」にします。
ランプ（赤）が点灯。

■停止するには

電源スイッチの左側を押して「切」にします。
ランプ（緑）が点灯。

■風量を切り換えるには

風量切換スイッチの右側を押して「強」にします。
左側を押して「弱」にします。

メモ　●使用初期に、熱交換器のにおいが出る場合がありますが、異常や有害ではありません。

お手入れのしかた

お手入れの前に

⚠警告

お手入れのときは運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

電源を切る

⚠注意

お手入れのときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。

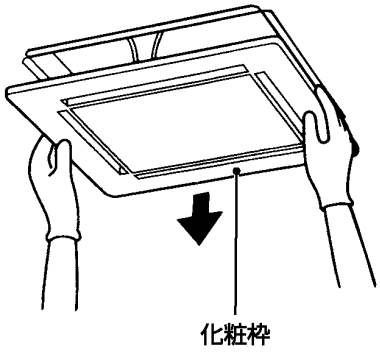
手袋を使う

●お手入れは中性洗剤をご使用ください。

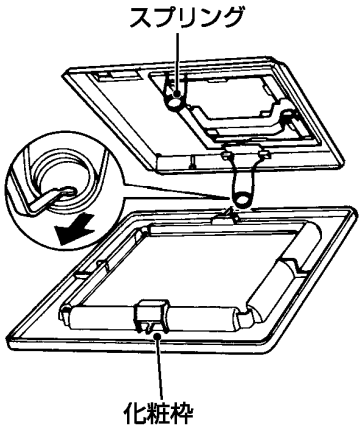
変質・破損の原因となります。

化粧枠のはずしかた

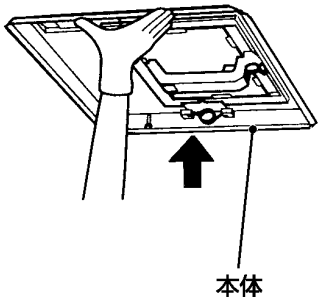
1 化粧枠が止まる位置までゆっくりと、真下へ引き下ろし、スプリングを固定します。



2 化粧枠を横にずらして、スプリングから化粧枠を外します。



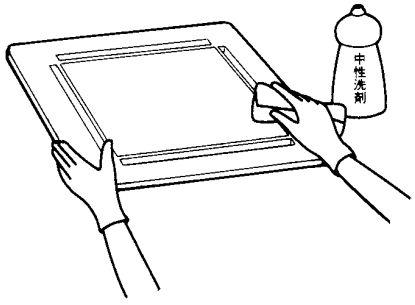
3 お手入れのとき、変形させないためスプリングは、本体内におし込んでください。



化粧枠のお手入れ

あまりよごれないうちに（3ヶ月に一度ぐらい）

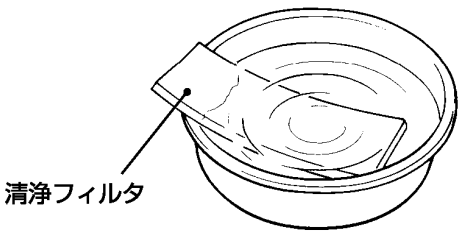
●化粧枠は中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。
洗剤が、残らないよう十分ふきとってください。
タワシなど固いものを使うと、きずがつきますのでおやめください。



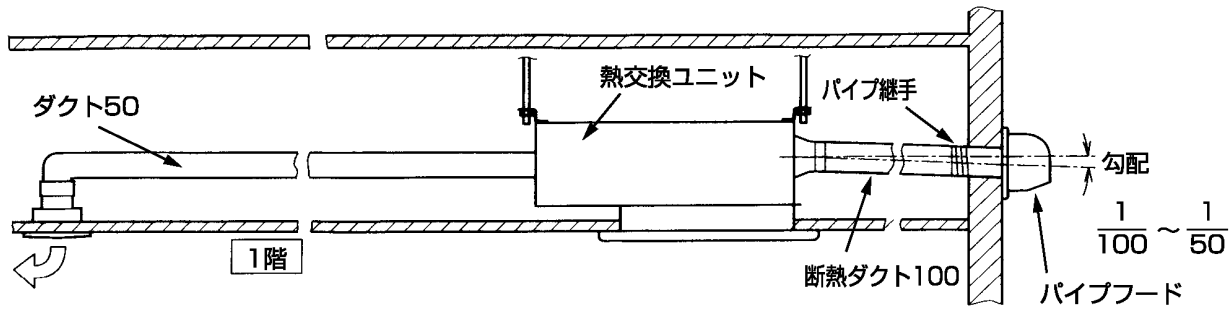
清浄フィルタのお手入れ

（6ヶ月に1回以上）

■清浄フィルタは、掃除機でホコリを吸取ります。
よごれのひどいときは、水か、ぬるま湯に中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流してから、十分に自然乾燥させます。熱湯で洗ったり、もみ洗いや、力を加えて曲げることは絶対にやめてください。

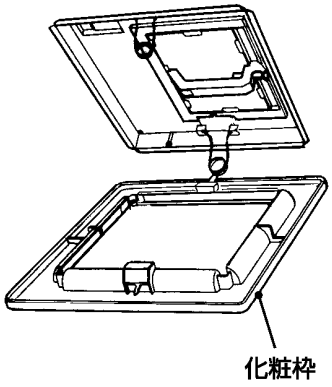


取付状態図

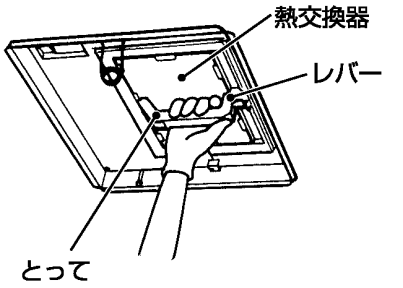


熱交換器・フィルタのはずしかた

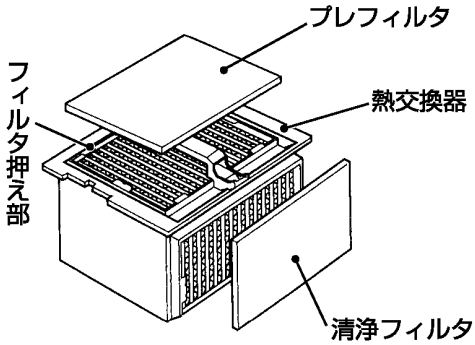
1 化粧枠をはずします。



2 熱交換器のとってをにぎり、人さし指で、とって内側のレバーを軽く押えながら真下へ引出します。



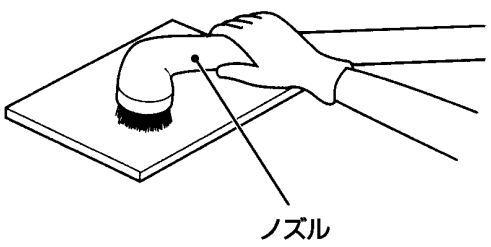
3 熱交換器から、プレフィルタと、清浄フィルタをはずします。
フィルタ押え部で、フィルタを軽くつまみ引きはがします。



プレフィルタのお手入れ

（6ヶ月に1回以上）

■掃除機により、プレフィルタの表面のごみ・ほこりを取ります。



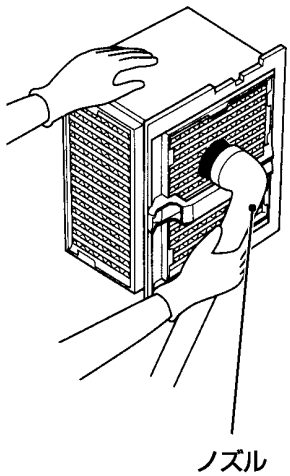
熱交換器のお手入れ

（1年に1回以上）

■掃除機により熱交換器の表面のごみ・ほこりを吸い取ります。

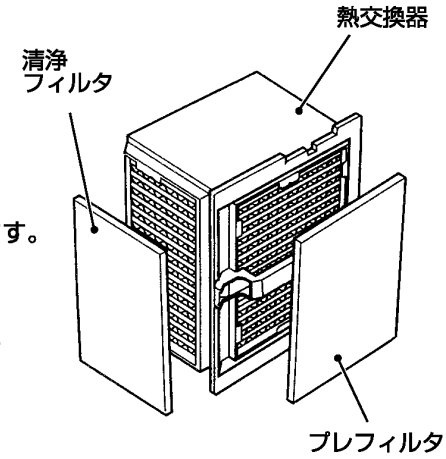
●掃除機のノズルは、ハケ付きのものを使い、ハケを軽く当てて掃除してください。
掃除機のノズルで熱交換器の目をつぶさないでください。

●熱交換器は、紙ですので絶対に水洗いはしないでください。



お手入れ後の組立

熱交換器・フィルタの取り付けかた



●お手入れが、終わりましたら取り付けは、次の手順で行ってください。
1.プレフィルタと、清浄フィルタを熱交換器に取り付けます。
　清浄フィルタは、熱交換器に確実に取り付けてください。
2.プレフィルタと、清浄フィルタを取り付けた熱交換器を、本体に取り付けます。
　カチッと、音がするまでさし込みます。
3.化粧枠を、取り外した逆の順序で本体に取り付けます。

●取り付けが終りましたら運転して、異常な振動や騒音がないことを確認してください。

つぎのことは必ず守ってください

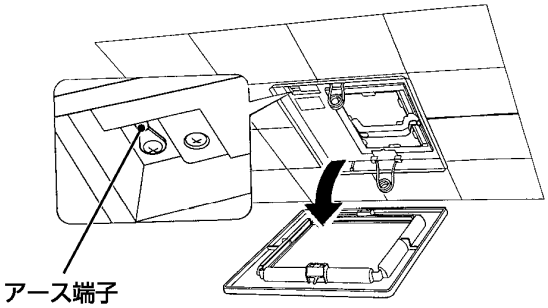
取り付け状態の確認

■換気扇が確実に取り付けられているか確認してください。

取り付けが、不十分ですと振動したり異常音を発生します。

■アースを確実に

使う前に、アース線が確実に取り付けられているか確かめてください。



取り付け場所・取り付けについて不具合があったときは、お買い求めの販売店または工事店へご相談ください。

お願い

●熱交換器･フィルタに、ほこりなどが多量に付着したまま運転しますと、機能低下を起こして故障の原因になります。
●ドライヤー、ストーブの温風など高温での乾燥はやめてください。フィルタが変形することがあります。
●火に、あぶることは絶対に行わないでください。
●プレフィルタ・清浄フィルタを入れ忘れると、熱交換器にごみが詰まり、使えなくなることがあります。
●モーターなどの電気部品は、掃除のとき絶対に水に浸さないでください。

仕様

（50Hz・60Hz共用）

電圧（V）	強・弱	消費電力（W）		風量（m3／h）		騒音（dB）		熱交換高率（%）		製品質量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
100	強	35	39	110	110	32	32	60	60	11.0
	弱	26	26	70	70	26	26	70	70	

●消費電力、風量（静圧0Pa時）、騒音の値は、JIS C9603の測定方法に準じます。

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
スイッチを、入れても風が出ない。	●ブレーカーが、切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に、異常音や振動がする。	●換気扇が、確実に取り付いていますか。 ●化粧枠が、本体に確実に取り付いていますか。 ●熱交換器が、確実に取り付いていますか。

●上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼ください。
※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

アフターサービス　（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

●換気扇の、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

●修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または、お近くの東芝家電製品のお客様ご相談センターにご相談ください。
なお、所在地は添付一覧表をご参照ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	熱交換ユニット
形　名	VFE-110KFP
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎（　　）　　－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。（風が出ない。）
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅い、または不規則。
- ●こげ臭い、においがする。

ご使用中止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社　換気機器部
〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地
TEL.（0545）62-5702

本商品は、ご愛用終了時に、再資源化の一助として、主なプラスチック部材に材料名を表示しています。

5T00XA1752